

健康支援

概要及び実施状況

1] 特定保健指導

特定保健指導が開始された平成20年4月から、標準的な健診・保健指導プログラムに基づき、実施主体である医療保険者から委託を受け、「特定保健指導」を実施している。

令和6年度は28団体から委託を受け、積極的支援513人、動機付け支援874人、動機付け支援相当3人、合わせて1,390人の特定保健指導を実施した。そのうち健診当日の初回面接の分割実施は、国保以外1団体の40人（積極的支援10人、動機付け支援30人）に実施した。（健診当日の分割実施①の時点を実績として計上）

表1 特定保健指導実施状況

	実施者数 ^{*1}	終了者数		途中終了者数		初回未完了者数 ^{*5} (%)
		評価終了(%)	督促終了 ^{*2} (%)	脱落 ^{*3} (%)	資格喪失 ^{*4} (%)	
積極的支援 男	397	347 (87.4)	0 (0.0)	47 (11.8)	2 (0.5)	0 (0.0)
積極的支援 女	116	89 (76.7)	0 (0.0)	24 (20.7)	3 (2.6)	0 (0.0)
動機付け支援相当 男	2	1 (50.0)	1 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
動機付け支援相当 女	1	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
動機付け支援 男	527	462 (87.7)	61 (11.6)	1 (0.2)	2 (0.4)	0 (0.0)
動機付け支援 女	347	297 (85.6)	37 (10.7)	6 (1.7)	3 (0.9)	3 (0.9)
総数 男	926	810 (87.5)	62 (6.7)	48 (5.2)	4 (0.4)	0 (0.0)
総数 女	464	387 (83.4)	37 (8.0)	30 (6.5)	6 (1.3)	3 (0.6)

前年度健診分の実施者9人（積極的支援3人、動機付け支援6人）含む

^{*1}実施者数に初回面接のみ契約の3人（積極的支援1人、動機付け支援2人）を含む

^{*2}督促終了とは、終了時評価が実施出来ず、度重なる督促により終了した者

^{*3}脱落とは、最終利用日から未利用のまま2ヶ月以上経過した者や支援途中で服薬開始となった者等

^{*4}資格喪失とは、退職等により保険が変更になった者

^{*5}初回未完了者とは、健診当日に初回面接の分割実施①を実施、後日の電話で②行動計画作成を完了できなかった者

【年次推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
積極的支援	416	483	394	459	513
動機付け支援相当	1	3	10	5	3
動機付け支援	963	1,016	969	652	874
総数	1,380	1,502	1,373	1,116	1,390

令和6年度より第4期となり、積極的支援における評価体系が見直され、従来からの保健指導の介入量（プロセス評価）に加えて、受診者の行動変容につながり成果が出たことを評価するアウトカム評価が導入された。また、クラウド型の保健指導システムを導入・使用開始し、受診者はメール支援やモニタリングツール等のWebサービスが利用可能となった。

表2-1 積極的支援実施状況

		実施者数 ^{*1}	終了者数		途中終了者数	
			評価終了(%)	督促終了 ^{*2} (%)	脱落 ^{*3} (%)	資格喪失 ^{*4} (%)
国保	男	101	87 (86.1)	0 (0.0)	14 (13.9)	0 (0.0)
	女	42	34 (81.0)	0 (0.0)	7 (16.7)	1 (2.4)
国保以外	男	295	260 (88.1)	0 (0.0)	32 (10.8)	2 (0.7)
	女	65	52 (80.0)	0 (0.0)	12 (18.5)	1 (1.5)
総数		503	433 (86.1)	0 (0.0)	65 (12.9)	4 (0.8)

表2-2 積極的支援実施状況（初回面接の分割実施）

		実施者数	終了者数		途中終了者数		初回未完了者数 ^{*5} (%)
			評価終了(%)	督促終了 ^{*2} (%)	脱落 ^{*3} (%)	資格喪失 ^{*4} (%)	
国保以外	男	1	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	9	3 (33.3)	0 (0.0)	5 (55.6)	1 (11.1)	0 (0.0)
総数		10	3 (30.0)	0 (0.0)	6 (60.0)	1 (10.0)	0 (0.0)

表3 動機付け支援相当実施状況

		実施者数	終了者数		途中終了者数	
			評価終了(%)	督促終了 ^{*2} (%)	脱落 ^{*3} (%)	資格喪失 ^{*4} (%)
国保	男	1	0 (0.0)	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	0	-	-	-	-
国保以外	男	1	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	女	1	1 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
総数		3	2 (66.7)	1 (33.3)	0 (0.0)	0 (0.0)

表4-1 動機付け支援実施状況

		実施者数 ^{*1}	終了者数		途中終了者数	
			評価終了(%)	督促終了 ^{*2} (%)	脱落 ^{*3} (%)	資格喪失 ^{*4} (%)
国保	男	195	171 (87.7)	22 (11.3)	1 (0.5)	1 (0.5)
	女	105	97 (92.4)	7 (6.7)	1 (1.0)	0 (0.0)
国保以外	男	332	291 (87.7)	39 (11.7)	0 (0.0)	1 (0.3)
	女	212	179 (84.4)	28 (13.2)	2 (0.9)	2 (0.9)
総数		844	738 (87.4)	96 (11.4)	4 (0.5)	4 (0.5)

表4-2 動機付け支援実施状況（初回面接の分割実施）

		実施者数	終了者数		途中終了者数		初回未完了者数 ^{*5} (%)
			評価終了(%)	督促終了 ^{*2} (%)	脱落 ^{*3} (%)	資格喪失 ^{*4} (%)	
国保以外	男	0	-	-	-	-	-
	女	30	21 (70.0)	2 (6.7)	3 (10.0)	1 (3.3)	3 (10.0)
総数		30	21 (70.0)	2 (6.7)	3 (10.0)	1 (3.3)	3 (10.0)

2] 専門職の派遣、健康教育等の受託

市町等からの委託を受け、専門職の派遣を10団体に対して63日間実施した。また、健康教育は1団体に対して1日間実施した。

表5 実施状況

		実施団体数	実施日数	職種別派遣人数		
				保健師	管理栄養士	健康運動指導士
専門職の派遣	地域	4	36	27	4	7
	職域	6	27	17	5	17
	学域	0	0	0	0	0
健康教育の受託	地域	0	0	0	0	0
	職域	1	1	1	0	1
	学域	0	0	0	0	0
総数		11	64	45	9	25

3] 健診データ等の統計・解析の実施

地域・職域診断サービスシステムを用いた健診結果報告書を16団体に提供した。また、そのうち8団体に対して個別に結果説明を実施した。

表6 地域・職域診断サービス健診結果報告書件数

	作成団体数	結果説明実施団体数
地域	10	6
職域	6	2
総数	16	8

4] 健康相談センター

今年度は100人から113件の相談があった。相談件数は前年度より38件減少した。人間ドックや集団健診後の検査所見の説明や医療機関受診に関する相談が6割以上を占めていた。

表7 相談内容と件数

	件数
検査所見の説明	44
医療機関紹介	30
検査内容	2
生活習慣アドバイス	4
紹介状	17
その他	16
総数	113